

# 県内工業系高校・建築設計コンクール 最優秀賞に由利工の4人

## 動物と人間の共生テーマ

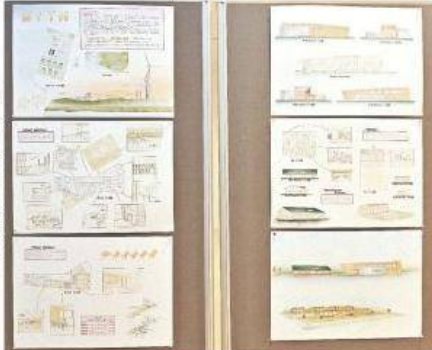
「第50回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール」の審査会が9日、秋田市文化創造館で開かれた。工業系学科のある高校と秋田高専の計5校の3年生21人が制作した10作品の中から、最優秀賞の県知事賞に由利工業の生徒4人による建築計画を選んだ。

日本建築学会東北支部秋田支所（松本真一支部長）の主催。県内で建築学を学ぶ高校生らに知識習得やアイデアを発表する機会を提供しようと毎年開催している。

同支所の役員や県内建築団体系役員ら11人が審査委員を務め、図面や外観の模写写真などをまとめた計画書を審査。▽コンセプト▽建築計画▽造形および表現力▽全体的まとまりの4項目を採点した上で審議を経て、県知事賞のほか、特別賞1点、優秀賞8点、奨励賞1点を決めた。

県知事賞は鈴木沙弥さん、小野穂佳さん、横山凜さん、伊藤拓真さんが手掛けた動物保護施設の建築計画。犬や猫の殺処分問題に着想を得た作品で、動物と人間が共生できる建物にしようと「with」を題している。動物も人間もゆったりとした気持ちで過ごせるよう建設予定地を由利本荘市の住宅地から離れた本荘マリーナ付近に設定。動物と人間の交流スペースや動物病院、カフェなどを備えている。審査委員長を務めた日本建築学会東北支部秋田支所の松本支部長は「県知事賞の作品は社会の問題に目を向けている点が優れていた。計画書も建物の間取りだけでなく、イラストを付けるなどして分かりやすく仕上げていた」と評す。

作品はきょう11日まで、秋田市文化創造館2階に展示している。午前10時～正午（加藤龍太郎）特別賞と主な優秀賞は次の通り。（敬称略）  
▽県教育委員会教育委員長、第50回記念特別賞▽池端莉玖、加賀谷空、草苺電馬（秋田工）▽日本建築学会東北支部長賞▽菅井笙、嵯峨卓也、大場陽（由利工）▽秋田魁新報社賞▽伊藤優希菜（秋田高専）



県知事賞に選ばれた作品「with」の計画書



作品の出来栄を評価する審査委員